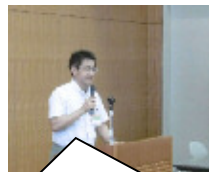


# 「SOSネットワーク交流会」を開催しました！

～29団体・54名が参加、情報交換をしました～ 【中村】

7グループで情報交換。それぞれの皆さんの体験を元にした「地域発！」のお話は、途切れることはありません。



「模擬訓練を行うことによって整ってきた地域のしくみや変化」について、小倉南区田原校区認知症支援活動委員会 林委員長に事例発表をしていただきました。

グループワークにも参加した宮永センター長の講評で和やかに終了しました。



「地域密着型事業所と地域の連携事例」について、八幡西区引野校区社会福祉協議会の山本会長（当時）と、お里の家きらめき養福寺の崎山施設長に事例発表をしていただきました。



地域はどう変わった？

意外と住んでいる地域のことを知らないことが良く分かった。「お互いの顔が見える」ようになると、情報も入ってくるようになる。繰り返し行うことで、大切なポイントが見えてくる。模擬訓練を実施するうちに、中学校との連携ができ、クラブ単位で毎回20名が参加するようになった。その流れで、子どもたちが「認知症サポーター養成講座」を受講した。まだ家族の症状をオープンにしていない人が多いが、少しずつ変わり始めている。少し心配な人をサロンにお誘いしている。地域の「お助け隊」を今のうちに組織したい。連絡網の整備が進んだ。（一部抜粋）

「北九州発！ 検索模擬訓練の今」

現在まで市内で模擬訓練を行ったすべての団体に、「きっかけ」「成果」「課題と展望」についてアンケート調査を行い、まとめたものを冊子化しました。ご覧になりたい方はお声かけください。

事業所との連携は？

利用者が行方不明になることもあるので、常日頃から連携しておきたい。専門家を呼んで脳トレや運動をし、茶話会付きで地域の人に開放している。若い職員が参加すると、地域の人が喜んでくれる。はじめは事業所が主導する形だったが、地域が新たに病院や学校にも参加の声をかけて、いい模擬訓練になった。施設の部屋を貸し出して、子どものおけいこに利用してもらっている。町内会に加入している。営利目的だけで動いているのではないことを分かってほしい。まずは運営推進会議から。（一部抜粋）

北九州発！  
検索模擬訓練の今



北九州市  
認知症支援センター



小さな図書館コーナー  
今月おすすめの一冊



「昌枝、俺の人生をおまえにあげる」  
中野 則行 著  
著者の妻は50代で若年性認知症を発症した。こちらの本は、家族をはじめ、地域の方の協力や、介護保険サービスを上手に利用しながら、約20年の介護記録が綴られています。介護中でも「自分の時間を持つ」ことの大切さや、妻に対する愛情の深さが垣間見える一文も。巻末には認知症がわかる資料もついています。【松岡】

## こんにちは！ 地域支援コーディネーターです②

地域の見守りや支えあいを強化する目的で、各区に「地域支援コーディネーター」が配置されています。お気軽に声を掛けて下さい。今月は若松区担当のお2人を紹介します。



かめやま ゆみこ 久保 順子 (敬称略)  
亀山由美子 久保順子 (敬称略)

高塔山では7万600株のあじさいが見頃を迎えています。初夏の一日を美しいあじさいに囲まれて過ごしませんか？ぜひお越しください！



## 広まるといいな「介護マーク」

例えば、介護のために異性ととも  
にトイレに入る必要があったり、下着  
の買い物をしなければならぬとき  
に誤解されることがないように。  
介護をする方が「介護中」であるこ  
とを周りに理解していただくために  
「介護マーク」を配布しています。障  
害のある方を介護する時にもどうぞ  
ご活用ください。  
お近くの区役所または地域包括支  
援センターに申請すると受け取るこ  
とができます。  
多くの方に「介護マーク」を知って頂  
いて、北九州市がもっと「やさしいま  
ち」になるとうれしいですね。

【中村】

二週間ほど入院していた義母  
の見舞いにと、JRを乗り継いで  
叔母がやってきた。70代後半。  
暮れに叔父が亡くなり一人暮  
らし。主治医のいう事をよく聴  
いて、毎日40分歩き、外出も  
心がけている。叔父の闘病が永  
かったので当初は「ようやくの  
んびりできるわね」と声を掛け  
ていたが、亡夫の大きな写真に  
日々の出来事を語り、寂しさ  
を痛感する毎日だという。以  
前はかわいい小型犬を飼ってい  
たが、自分の年齢を考えると  
飼いたいけど飼えない。「ロボッ  
ト犬は？」と尋ねると、「話し  
相手にはなるだろうけど、抱っ  
こしたときの ふんわり、温か  
い感じがいいんだあ」と言った。  
一人暮らしの人に「ふんわり温  
かくて、心の拠り所になるよう  
なもの」が、提供できるという  
のだけれど。

【な】

